

著者紹介（掲載順）

岩内章太郎（いわうち・しょうたろう）

一九八七年札幌市生まれ。早稲田大学国際教養学部助手。

専門は現象学。主な論文に、「Some Remarks on the Confrontation between Essentialism and Constructionism: A Phenomenological Perspective」(*Transcommunication*, Vol. 3-2)、「マックス・シェーラーにおける「人間」概念再考…ニヒリズムと動物化の狭間で」(『総合人間学』第十号)など。

平原卓（ひらはら・すくも）

一九八六年北海道生まれ。早稲田大学文学研究科修士課程修了（人文学専攻）。哲学者。哲学解説ウェブサイトを「Philosophy Guides」主宰。著書に『読まずに死ねない哲学名著50冊』（フォレスト出版）。

石川輝吉（いしかわ・てるきち）

一九七一年生まれ。哲学者。桜美林大学、日本社会事業大学、早稲田大学非常勤講師。著書に『カント信じるための哲学』（NHKブックス）、『ニーチェはこう考えた』（ちくまプリマー新書）など。

魚崎角（うおざき・かく）

一九七八年生まれ。兵庫県神戸市出身。修士（文学）。

竹田青嗣（たけだ・せいじ）

一九四七年大阪生まれ。早稲田大学国際教養学部教授。哲学者・文芸評論家。文芸評論、思想評論とともに、実存論的な人間論を中心として哲学活動が続ける。フッサール現象学を基礎として、哲学的思考の原理論としての欲望論哲学を構想。